

ベトナム株式市場の格上げについて



《2026年9月にFTSE ラッセルによるベトナム株式市場の格上げが実施される》

2026年4月8日、FTSE ラッセルはベトナム株式市場の関連指数への組み込みに関する具体的な行動指針とスケジュールを発表した。既に2025年10月にフロンティア市場からセカンダリー・エマージング（二次新興市場）への格上げを決定していたが、ベトナム当局が実施した各種改革の進捗状況を確認するために6ヶ月の経過観察期間を設定していた。様々な検証が実施された結果、改革の進捗は良好と評価され、今回の発表となった。これでベトナム株式市場の格上げは実を伴ったものとなる。具体的にはFTSE ラッセルの新興国株式市場に関連するインデックスへの組み入れ比率の目安、インデックスへの組み込みの具体的なスケジュール、現時点で組み入れの対象となる銘柄候補などが発表されている。

《インデックスへの組み入れのアクション》

主なインデックスへの組み入れ比率は、浮動株比率や流動性（平均的な売買代金）などを考慮した実質的な時価総額をベースに図表1のように決められている。世界株式市場全体をカバーするような

図表1 FTSEの株価指数と組み入れ比率の目安

インデックス名	FTSE Global All Cap	FTSE Global All Cap(米国を除く)	FTSE All-World	FTSE Emerging All Cap	FTSE Emerging
組み入れ比率(%)	0.037	0.096	0.024	0.350	0.227

注 2026年3月27日終値に基づいた試算であり、今後の価格変動に影響を受けて実際とは異なる可能性がある
出所 FTSEの公式発表およびACB証券のデータをもとに当社作成

インデックス（FTSE Global All Cap、FTSE All-World）では0.02～0.04%、エマージング市場に特化したインデックス（FTSE Emerging All Cap、FTSE Emerging）では0.2～0.4%といった組み入れ比率になるというのが現時点での試算に基づくガイダンスである。

組み入れ比率引き上げの株価への影響を緩和するため、組み入れのスケジュールは以下のように決まった。まず2026年9月21日に組み入れ比率の10%分を組み入れ、2027年3月に組み入れ比率の20%を追加（通算の組み入れ比率は30%）、2027年6月に組み入れ比率の35%を追加（同65%）、2027年9月に組み入れ比率の35%追加して想定する組み入れ比率（同100%）へ引き上げる。FTSE Emerging All Capを例にすると、2026年9月21日に0.035%を組み入れ、2027年3月に0.07%が追加されて合計0.105%へ、2027年6月に0.1225%追加されて0.2275%へ、2027年9月に0.1225%追加されて0.35%ということになる。1年かけて想定する組み入れ比率に引き上げることになる。

多くのインデックス連動型の投資信託やETFが以上のルールに従ってベトナム株式市場へ自動的に資金を流入させることになる。一例をあげると、FTSE Global All Cap（米国を除く）への連動を目指しているバンガード・トータル・インターナショナル株式ETFの総資産は5,822億ドル（2026年3月末時点）で、FTSE ラッセルのガイダンスに従えば2026年9月に5,600万ドル（1ドル26,000VNDとして同約1.4兆VND）、2027年9月まで5.6億ドル（同約14.6兆VND）の資金をベトナム株式市場に流入させることになる。ベトナムのACB証券の試算によると各種主要パッシブファンドの合計で2026年9月に1.7億ドル、2027年9月までに17.1億ドルの資金流入が見込めることになる。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会
主な事業 金融商品取引業

一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20260415

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ベトナム株式市場の格上げについて



《組み入れ対象銘柄の見方》

FTSE ラッセルは組み入れ銘柄の候補として 32 銘柄を挙げている（図表 2）。ただし、これはあくまでも 2025 年 12 月末時点で試算した結果として出てきた銘柄であって、2026 年 9 月に同じ銘柄が組み込まれるとは限らない。FTSE ラッセルは投資家の利便性を重視しているため、実際のオペレーションで障害がないように、浮動株調整時価総額を軸に銘柄を選定している。政府や特定株主の保有比率が高い銘柄、外国人保有制限のある銘柄の浮動株調整時価総額は実際の時価総額よりも小さくなるため、業界を代表するような大型株であっても組み入れ銘柄の候補には入らなかった銘柄もある。組み入れ額の計算にもこの原則が適用されるため、例えばベトナム投資開発銀行（BID）の流入見込み額は 180 万ドルだが、時価総額がより小さいサイゴン証券（SSI）の流入見込み額は 730 万ドルとなっている。

裏を返せば、大株主の売り出しなどによって特定株主の比率を下げ、外国人保有制限を緩和・撤廃すれば、浮動株調整時価総額が大きく上昇させることができる。以上のようなコーポレートアクションを実施することによって 32 銘柄以外の銘柄でも組み入れ銘柄候補になる可能性があるし、流入見込み額を増やすこともできるだろう。

流入額の見込みについて、インデックスファンドの流入額だけを見てきたが、環境さえ整えばアクティブファンドや富裕層からの資金流入も期待できる。FTSE ラッセルの組み入れが順調に進めば、より大きな影響力のある MSCI のインデックスへの組み入れも検討されるようになるだろう。ベトナム株式市場の時価総額は 8,112 兆 VND(2026 年 4 月 9 日時点)に対して名目 GDP(2025 年 1-12 月)は 1 京 2,847 兆 VND で、いわゆるバフエット指数は 0.63 倍という水準である。また、2026 年 1-3 月期の実質 GDP 成長率は 7.83%、消費者物価指数は 3.51% となり、名目 GDP は 10% を超える水準で成長しているとみられる。

図表2 現時点でインデックスに組み込まれる可能性のある銘柄と2026年9月21日時点流入見込み額

	銘柄とティッカー	2026年9月21日の流入見込み額
大型(5銘柄)	VCB(ベトナム銀行)、HPG(ホアファット)、VIC(ビングループ)、VHM(ビンホームズ)、BID(ベトナム投資開発銀行)	VICが最大で5620万ドル、最小はBIDの180万ドル。BIDは政府の保有比率が高いために浮動株比率が低い。また、外国人保有率があることから、FTSEの各指数への組み入れ比率が低くなってしまふ。そのため流入見込み額が小さい
中型(4銘柄)	VNM(ビナムルク)、MSN(マサングループ)、SAB(サベコ)、FPT(FPT情報通信)	MSNが最大で1040万ドル、最少はSABの100万ドル。MSNは外国人持ち株制限がないため流入見込み額が大きい。SABは固定株主の比率が高く、浮動株比率が低いため、流入見込み額が小さい
小型(23銘柄)	SSI(SSI証券)、STB(サコムバンク)、SHB(サイゴン・ハノイ銀行)、EIB(エクシムバンク)、VIX(VIX証券)、KDH(カンディエン・ハウス)、DXG(ダットサイン)、KBC(キンバックシティ)、DIG(DIGグループ)、NVL(ノバランド)、DPM(PV肥料)、HUT(タスコ)、GEX(ゲレックス)、VRE(ビンコム・リテール)、VND(VNダイレクト証券)、PDR(ファットダット不動産)、DGC(ドック・ザン化学)、VJC(ベトジェット)、VGI(ベトキャップ証券)、FRT(FPTデジタルリテール)、GEE(グレッグス電設)、BSR(ビンソン石化)、KDC(キンント)	SSIが730万ドルと大きい。浮動株比率が高く、外国人持ち株率がないためである。その他の銘柄は70万ドル(FRT)から590万ドル(VIX)の範囲にある。

出所 FTSEの公式リリースおよびベトナムのACB証券リサーチ部門のデータをもとに当社作成

ニューズ証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260415

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。